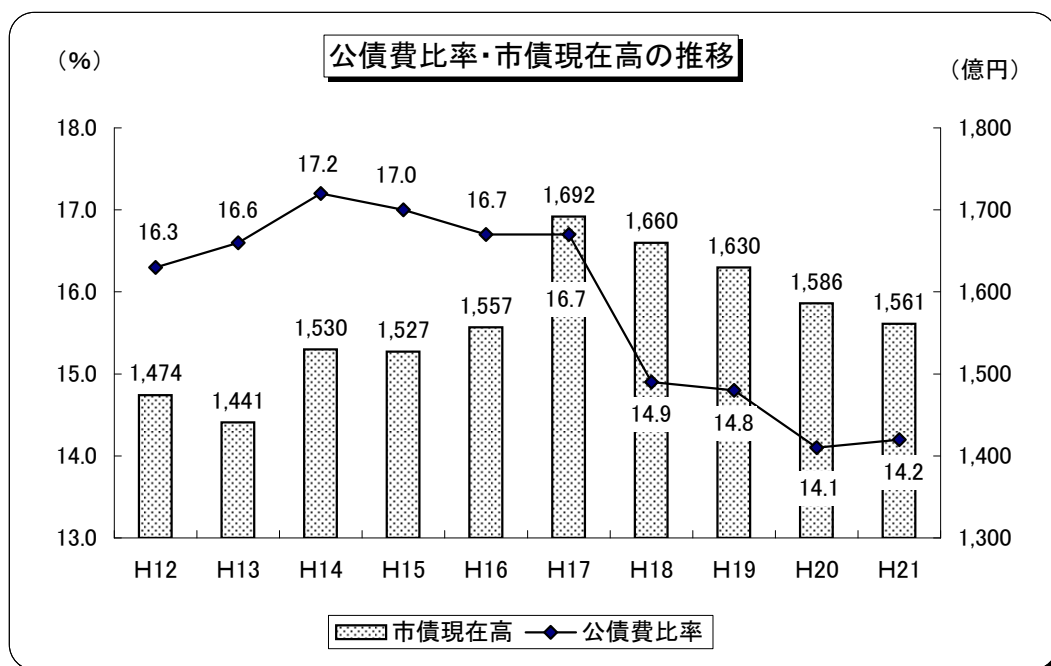


「公債費比率と市債現在高」

公債費比率 【21】 14.2% ← 【20】 14.1% (0.1ポイント上昇)
年度末市債現在高 【21】 1,561億1,600万円 ← 【20】 1,586億円
(24億8,400万円減少)

- 市債の元利償還金は201億4,700万円（元金169億8,500万円，利子31億6,200万円）で，3億8,700万円の増加。
- 公債費対策として10億2,300万円の繰上償還を実施するとともに，市債借入額は元金償還金を下回る145億200万円に抑制。



注 平成14年度（旧内海町・旧新市町合併），平成16年度（旧沼隈町合併），平成17年度（旧神辺町合併）は，それぞれ合併前の町及び解散した一部事務組合を含む。

「むすび」

景気は，着実に持ち直しているといわれていますが，失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にあります。今後，景気動向に左右される市税や地方交付税など一般財源の確保が不透明な状況の中で，歳出にあっては，扶助費や公債費などの義務的経費は高水準で推移することが見込まれます。そうした中，第四次福山市総合計画に基づくまちづくりの取組みや，少子高齢社会や人口減少社会への対応，地球温暖化対策の推進など，財政需要はますます増大していくものと予測されます。

本市がさらなる発展を遂げるために，行財政改革を着実に推進し，簡素で効率的な行政システムを構築するとともに，施策・事業の厳しい選択と重点化を図り，中長期的な視点に立った，健全で持続可能な財政運営を推進していきます。